

学科 学年	C 3. S 3	科目 分類	歴 史	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 (A)	担当	藤井靖士 Seiji Fujii
概 要	二年連続講義の後半。前年度の学習成果を継承し、発展させながら、今年度は主として西欧の歴史を主軸に講義するが、中国、インド、イスラム、特に日本の歴史に関しても可能な限り関連を求めて行きたい。前期は宗教改革、ルネサンスまで、後期は市民革命、産業革命を経て、帝国主義と二つの大戦に言及するが、時間の制約もあり、大局的に捉え、国際人としてふさわしい教養を身につけさせる。							
科目目標 (到達目標)	ヨーロッパ市民社会の形成発展を主軸に学習する一方、西欧以外の文化圏諸国の動向にも常に視野を向けさせ、大局的に理解させることを主目的とする。							
教科書 器材等	高校世界史〔B〕山川出版、新詳世界史図説 浜島書店 史料プリントなど							
評価の基準と 方法	定期試験 70%, 授業への参加 30%として評価し、60点以上を合格とする。							
関連科目	地理・古典（漢文）・英語							
授業計画								
第 1回	ガイダンス・ゲルマン民族の移動							
第 2回	西ヨーロッパ封建社会							
第 3回	教皇権の隆盛と中世文化							
第 4回	十字軍と都市の発生							
第 5回	教会勢力の衰退							
第 6回	西欧諸国の動向							
第 7回	定期試験							
第 8回	答案返却と解説（結果次第では同時代の他国史に触れる）							
第 9回	ルネサンス							
第10回	ヨーロッパ人の対外進出							
第11回	宗教改革							
第12回	絶対主義時代史							
第13回	同諸国の動向							
第14回	定期試験							
第15回	答案返却と解説（結果次第では他国史に触れる）							
第16回	絶対主義の文化							
第17回	市民革命・イギリスとアメリカ							
第18回	産業革命							
第19回	フランス革命							
第20回	ナポレオン戦争							
第21回	ウィーン体制とその破綻							
第22回	定期試験							
第23回	答案返却と解説（結果次第では同時代他国史に触れる）							
第24回	七月革命と二月革命							
第25回	アメリカ大陸の発展							
第26回	自由主義・民主主義の発展							
第27回	帝国主義への道							
第28回	第一次世界大戦							
第29回	大戦後の世界							
第30回	定期試験							
オフィス アワー	金曜日午後を主に必要に応じて随時、質問に対応する。							
授業アンケート への対応	①板書事項の整理 ②質問タイムの増設 ③レポート類取扱いの再考							
備 考								